

11月17日(月)

おはようございます。

少しまた、寒い日がこれから続くようです。健康に気をつけてもらいたいと思っております。

土曜日に学園長先生が、「執着」の話をされましたが、ぼくもあれは大変難しいことだと思います。

さて、「執着」と「向上心」とは違います。これは分けないといけません。「執着」は学園長先生によくないと言われたからといっても、「俺はこれだけ頑張っただけで、頑張ったらあかんのか」というような話ではありません。向上心があるというのは、自分で自分の心をコントロールできている状態のことです。それに対して、執着しているというのは、自分の心をコントロールできていない状態のことです。たとえば、ネット依存症。ネットをやっていないと我慢できず、どうしてもやってしまうということ。あるいは、ゲーム依存症もそう。依存症というのは、それをしないと我慢できず自分をコントロールできない状態のことなのです。

しかしたとえば、いつも勉強してないと我慢できないというふうに、自分をコントロールできないという人はいないでしょ。やめようと思ったらやめられるのだから。でもそこで、高い目標を持って頑張って勉強しているのは「向上心」です。反対に、なにかに心を奪われて自分を自分でコントロールできなくなっている状態は執着している状態であって「向上心」ではない。そうならないように、自分で上手に制御しなくてははいけません。これがすごく大切なのです。だから「執着」と「向上心」を一緒くたにしてはいけません。高い目標をもって自分を高めていこうというのは「向上心」です。これはむしろ持ってもらわないといけない大切なことです。

井村さんというシンクロナイズドスイミングのコーチを知っていますか。日本から中国のコーチになって、また日本のコーチになられた人。彼女に指導を受けた、日本のエースの女の子が泣いていた。そこで、アナウンサーが、「なぜで泣いているのですか、練習がきついのですか」と尋ねた。すると「きつくて泣いているのではありません。私は自分では精一杯やっていると思っていました。しかし、井村さんに言われてやったらもっとできたのです。だから、私は、自分では精一杯やっているつもりだったけれど、まだそれは精一杯ではなかった。そんなことは自分のつくりごとにすぎなかったので、情けなくて泣けてきたのです」と答えた。

日本代表クラスのきつい練習についていくのは、向上心があればこそできることです。向上心をしっかり持つということと、自己コントロール不能の「執着」とはぜんぜん違う、分かるよね。しかし、何かにひどくこだわる気

持ちを、向上心の方に上手に向けていくというのは大切です。上手にね、ひどい執着にならないようにコントロールすること。これを理事長は「足るを知る」とこういうふうにおっしゃった。なかなか「足るを知る」ということは難しい。

制御を自分でかけるということと、強い向上心を持って自分を高めていくということは一緒のことですが、強い向上心を持って自分を高めていくことがないと、「器」というのは大きくなりません。たとえば、君が来週に生駒山へ学校でハイキングへいくことになったら、これは大変だといって、装備を買いに行く人はいませんよね。しかし、来週君が強制的に100km歩行に参加しなければいけなくなったら、きっとそれにふさわしい装備を買いに行くでしょう。そんなに高い目標を君が持てば、高い目標にあわせて準備をしていかなければならない。つまり、高い目標があるからこそきちんとした準備ができるのです。低い目標やったら準備しなくてもいい。そういう意味で高い目標にこだわって頑張るって努力していくことと、コントロール不能の執着とは、まったく別のことなのです。

ゲームに執着、ネットに執着。大人になったらお酒に執着、アル中。そういう気持ちをコントロールできない状態と、高い目標を持ってやっていくとは別のことです。高い目標の方には、自分の意志があるでしょう。執着の方は自分の意志が関係していません。高い目標を持ってそれにこだわって頑張っていくのは、もうあくまでも自分の意志によって自分の可能性を広げようとするのです。そういう意味で高い目標を持って頑張っていくかないといけません。

その高い目標を持っていくために必要なことは、「選択」と「集中」です。

時間は限られているのだから、その限られた時間のなかで、どれだけ集中する時間とリラックスする時間とを仕切るか、またリラックスする時間が行きすぎてしまわないようにするにはどうするか。その執着をきちんとコントロールできるかどうか、向上心を高めつつ高い目標に達成できるかどうかのポイントです。諸君の欲望をかきたることがたくさんある時代においては、この自己コントロールを上手にして高い目標に気持ちを向けて行ってほしい。これがまさに福の神になるポイントだと思います。

今朝の話はこれで終わります。

( 学校長 )